

2013年1月16日

NTT アイティ株式会社

音声も伝える多地点ペーパーレス会議「ミーティングプラザ PLC」を新発売 ～iPad、Android、Windows、Macに発表者の資料、音声を配信する新製品～

NTT アイティ株式会社（本社：横浜市中区、代表取締役社長：長谷雅彦）は、多地点に散在した iPad/iPhone、Android 端末、WindowsPC、Mac などの参加者の手元端末に、発表者の資料と音声を提供する多地点ペーパーレス会議「ミーティングプラザ PLC (PaperLess Conference)」を2月4日（月）より発売いたします。

「ミーティングプラザ PLC」では、参加者端末の汎用ブラウザに発表者の資料と音声を配信することにより、会議・セミナー会場内外の参加者が発表者の資料を見て、発表者の音声を聞きながら、会議・セミナーを聴講することが可能になります。

「ミーティングプラザ PLC」は、初期費用の少ないクラウドサービスで提供しますので、コストが抑えられ、すぐに使用を開始できます。また、オンプレミス型のシステム販売も実施いたしますので、ご相談ください。

■販売開始の経緯

NTT アイティの「ミーティングプラザ」は、3,000社を超える導入実績を持つ Web 会議です。2012年10月には、Web 会議参加者の手元の iPad/iPhone、Android 端末、WindowsPC、Mac 等（以下、参加者端末）に発表者の資料を配信するペーパーレス会議サービスを開始いたしました。

このペーパーレス会議サービスをご利用のお客様より寄せられた、会議会場外でも会議を聴講できるようにしてほしいとの要望にお応えするため、発表者の資料と音声を会議会場外の汎用ブラウザに配信する技術を開発しました。また、参加者端末に資料ファイルをダウンロードすることなく、安全にページ送りのできる機能も新たに開発しました。

そこで、これらの機能を盛り込み、今回新たに「ミーティングプラザ PLC」として製品化しました。これにより、会議、講義、講演会、セミナー等の参加者数を飛躍的に増加させるだけでなく、参加者の利便性向上を実現しました。

■「ミーティングプラザ PLC」の概要

「ミーティングプラザ PLC」は、多地点に散在する会議参加者端末に、発表者資料、音声を提供するサービスです（図1参照）。発表者資料だけを配信するタイプAから、発表者資料、音声配信とWeb会議を組み合わせたタイプDまでの4タイプでご提供いたします（表1参照）。

本会議室の発表者がPC画面上に表示したマイクロソフトパワーポイントなどの発表者資料は、一旦クラウド内のミーティングプラザサーバに画像イメージとして自動保存され、その後本会議室の参加者端末に配信されます。参加者はタブレットなどの参加者端末で、ページ送り機能により、発表者資料を自由に遡って閲覧することが可能です。このとき、発表者から参加者に配信される資料は、発表者PCの画面イメージのみで資料ファイルは配信されません。画面イメージはキャッシュメモリに保存されない設定のため、もし参加者端末が異常終了しても、資料が参加者端末には保存されず、情報漏洩の心配はありません。また、ページ送りの利用／利用不可は発表者が自由に選択することができます（タイプA、B、C、D）。

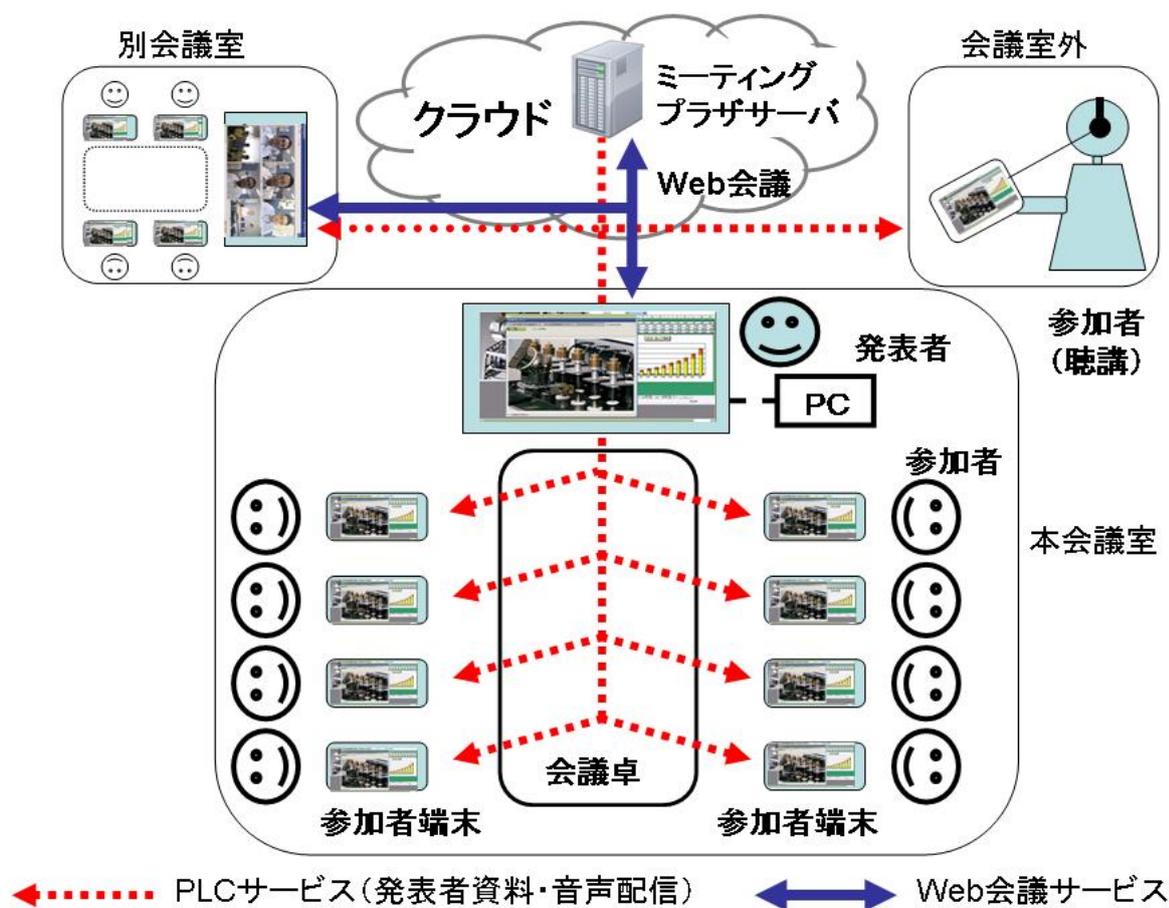


図1 ミーティングプラザPLCの構成

表1 ミーティングプラザPLCのラインアップ

	概要	機能	用途
タイプA (資料配信)	一会議室で、発表者の資料を参加者に配信。また、電話会議、電話案内で、説明の補助として資料を遠隔地に配布。	資料配信	・一地点ペーパーレス会議 ・電話会議、電話案内での説明資料配付
タイプB (資料+音声配信)	タイプAに音声配信機能を追加。会議室外のユーザは、発表者の資料配信、音声配信を受け、会議を聴講。	資料配信 音声配信	・会議室外から会議聴講 ・ネット利用Webセミナー、講演
タイプC (タイプA+Web会議)	タイプAにWeb会議機能を追加。Web会議で接続した各地点で発表者の資料を閲覧。	資料配信 Web会議	・多地点ペーパーレスTV会議
タイプD (タイプB+Web会議)	タイプBにWeb会議機能を追加。Web会議室外のユーザは、発表者の資料配信、音声配信を受け、会議を聴講。	資料配信 音声配信 Web会議	・多地点ペーパーレスTV会議 ・会議室外から会議聴講 ・ネット利用パネル討論

本会議室と別会議室はWeb会議で接続されており、別会議室の参加者は本会議室と映像音声を相互に交換しながら、発表者資料を参加者端末で閲覧して会議に参加することが可能となります。Web会議で接続された地点の参加者は全員発表者となるのが可能です(タイプC、D)。

会議室外の参加者は、発表者資料と同時に配信される発表者音声を聞きながら会議を聴講することが可能です。この機能によって、インターネットに接続された任意の場所で、会議を聴講することが可能になります（タイプB、D）。

発表者の音声は、発表者資料と同様に、ミーティングプラザサーバに送られた後、参加者端末に配信されます（タイプB、D）。会議室外の参加者は、発表者資料を見ながら、発表者の音声を聞くことにより、会議を聴講することが可能となります。

「ミーティングプラザPLC」は、インターネットを利用した大規模Webセミナーにも利用することが可能です。発表者は、特別なスタジオを使用することなく、オフィス自席、自宅などにインターネットに接続されたPCとヘッドセットを用意するだけで、数十人、数百人に資料と音声を実時間に配信することが可能となり、専門分野の講義や講演、各種情報の提供が容易に行えるようになります。参加者（受講者）はメールまたはWebで提供されたURL、QRコードから、発表者の資料、音声を取得することが可能となります。資料・音声取得の際にパスワードを設定することが可能ですので、有料会員向けサービスにも利用できます（タイプB）。

<会議の開催方法>

会議主催者が日時と参加者を指定して毎回予約する方法と、最初に常設会議室を設定する方法の2通りがあります。両方法とも、会議主催者、参加者（Web会議参加者、ペーパーレス会議参加者）に会議室に入出するためのURLとQRコードがe-mailで配信されます。会議主催者と参加者は、e-mailに記載されたURL、またはQRコードを利用して会議室に入室します。会議主催者、Web会議参加者は発表者になれますが、ペーパーレス会議参加者は発表者にはなれません。

QRコードを会議室の入口などに表示しておくことにより、ペーパーレス会議参加者が持ち込んだ私物タブレットで発表者資料を取得することが可能になります。この方法により、社内会議に限らず、公開の講演会、セミナー、大学の講義などの広い範囲で使用することができます。

■ 「ミーティングプラザ PLC」の利用環境

● 使用できる端末

- ・発表者端末： Windows XP 以降
- ・参加者端末： iPad、iPhone、Androidタブレット／スマートフォン、Windows PC、Mac。
ただし、Android端末への音声配信機能はサポート対象外となります。

- 会議資料： Windows PCで起動するMS Office、ワープロ、メーラーなど、ほとんどのアプリケーションのファイルを会議資料として使用可能。会議中でも資料の編集が可能。デスクトップの全画面、一部画面の共有も可能。静止画像のみでなく、準動画画像を配信することも可能。

■ 「ミーティングプラザ PLC」の特長

- (1) 高安全性： 発表者の資料ファイルを参加者端末にダウンロードしない安全設計。
- (2) 音声配信： 汎用ブラウザにインターネット経由で音声配信。どこでも会議聴講可能。
- (3) 簡単操作： QRコード、URLリンクを利用することにより、簡単に会議資料を取得。
- (4) 頁送り機能： 資料ファイルをダウンロードせずにページ送りが可能。安全で便利。
- (5) 低導入コスト： クラウドサービスの場合、導入コストが安価。
- (6) 即応性： 発表者が発表資料を修正、編集すると、参加者の画面に即座に反映。
- (7) 導入容易： 参加者は汎用ブラウザを利用するため、ソフトの事前インストール不要。

■提供形態

NTT アイティがサーバを運営するクラウドサービス、またはユーザが自社でサーバを運営するオンプレミス型のシステム販売の2通りでご提供いたします。

■価格（税別）

サービス価格を表2に示します。オンプレミス型のシステム販売価格はお問い合わせください。

表2 ミーティングプラザPLCサービス価格

	価格	
	(資料・音声配信10地点、Web会議5地点、使用時間制限無しの場合)	
タイプA (資料配信)	初期費用	30,000円、月額料金 15,000円
タイプB (資料+音声配信)	初期費用	30,000円、月額料金 25,000円
タイプC (タイプA+Web会議)	初期費用	30,000円、月額料金 60,000円
タイプD (タイプB+Web会議)	初期費用	30,000円、月額料金 70,000円

【追加オプション月額料金】 資料配信： 50地点毎、15,000円/月1回 (連続8時間まで)

資料・音声配信： 50地点毎、25,000円/月1回 (連続8時間まで)

【その他】 資料・音声配信の最低契約数は1です。追加オプション月額料金は月1回以上会議を開催する場合の料金です。開催頻度が月1回未満の場合はお問い合わせください。

料金の計算例：

- ・タイプCで、毎日資料配信10地点、Web会議5地点の会議を実施、月に2回、資料配信地点が60地点に増加する場合、初期費用3万円、月額料金6万円、追加オプション月額料金3万円となります。
- ・タイプBで、毎月1回、資料配信地点が110地点のセミナーを実施する場合、初期費用3万円、月額料金2.5万円、追加オプション月額5万円となります。

■販売開始日と販売目標

販売開始：2013年2月4日(月)(1月17日(木)より予約開始)

販売目標：年間 500 契約